

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成27年 5 月21日
【会社名】	オンキヨー株式会社
【英訳名】	ONKYO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大舘 宗徳
【本店の所在の場所】	大阪府寝屋川市日新町 2 番 1 号 (同所は登記上の本店所在地ですが、実際の本店業務は 下記で行っております。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区北浜 2 丁目 2 番22号
【電話番号】	06 (6226) 7343
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画室長 林 亨
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社および当社グループの財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号および第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 持分法による投資損失の計上

当該事象の発生年月日

平成27年5月13日

当該事象の内容

持分法適用会社の業績悪化にともない、持分法による投資損失として営業外費用を計上することとなったものであります。

当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成27年3月期連結決算において持分法による投資損失として2億39百万円を営業外費用に計上いたします。

(2) 特別利益の計上

当該事象の発生年月日

平成27年3月2日

当該事象の内容

当社は、平成27年3月2日にパイオニア株式会社の連結子会社であるパイオニアホームエレクトロニクス株式会社（現：オンキヨー＆パイオニア株式会社）の全株式を取得し完全子会社といたしました。これにともない、特別利益（負ののれん発生益）を計上することとなったものであります。

当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成27年3月期連結決算において負ののれん発生益7億92百万円を特別利益に計上いたします。

(3) 特別損失の計上（関係会社出資金評価損）

当該事象の発生年月日

平成27年5月13日

当該事象の内容

実質価額が低下した連結子会社出資持分につき減損処理を実施し、特別損失を計上することとなったものであります。

当該事象の損益に与える影響額

平成27年3月期個別決算において関係会社出資金評価損として14億73百万円を特別損失として計上いたします。なお当該関係会社出資金評価損につきましては、連結損益に与える影響はありません。

(4) 特別損失の計上（関係会社株式評価損）

当該事象の発生年月日

平成27年5月13日

当該事象の内容

実質価額が低下した持分法適用会社株式について減損処理を実施し、特別損失を計上することとなったものであります。

当該事象の損益に与える影響額

平成27年3月期個別決算において関係会社株式評価損として5億46百万円を特別損失として計上いたします。なお当該関係会社株式評価損につきましては、連結損益に与える影響はありません。

以 上